

品川宿の石垣石、品川御台場の石垣石

3_02_01



東海道品川宿の石垣石

かつて東海道の海岸線沿いに築かれた石積みの護岸。平成 27 年(2015)11 月に撤去された際に、品川歴史館にその一部が寄贈されました。千葉県のこぎりやまの鋸山でとれた、火山灰などが堆積してできたぎょうかいがん凝灰岩を用い、19 世紀後半に築かれたと考えられます。

3_02_02



品川御台場の石垣石

江戸幕府は嘉永 6 年(1853)6 月のアメリカ合衆国ペリー艦隊来航を受け、品川沖から深川沖（現在の東京都品川区の沖合から東京都江東区の沖合）に台場を築造しました。伊豆いず葎山にらやま（現在の静岡県伊豆の国市）の代官である江川えがわ英龍ひでたつを責任者とし、計画の半分の 6 基が完成した段階で、翌嘉永 7 年(1854)に工事を中止しました。この石は、南品川りょうし 獵師町ごてんやまに追加で築造された品川御殿山下台場の跡地から出土し、品川区立台場だいば小学校から寄贈されたものです。